

弾道ミサイル攻撃を受けたとき、明暗を分けるのは避難行動

近年、他国から発射されたミサイルが、日本の排他的経済水域内への落下や日本上空を通過するなど、国民の安全・安心と平和が脅かされる事態が発生しています。

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、全国瞬時警報システム(Jアラート)を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流す他、緊急速報メールなどにより緊急情報をお知らせします。

弾道ミサイル落下時には

①速やかな避難行動

- 激しい爆風や破片から身を守る行動(右記)を取りましょう

②正確かつ迅速な情報収集

- 国の対応状況は、首相官邸HPやTwitter(@Kantei_Saigai)で確認できます
- 「緊急一時避難施設」に指定されている、コンクリート造りの堅ろうな建物や地下施設は、内閣官房 国民保護ポータルサイト(右記)で検索できます

※行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

屋外にいる場合
【爆風や破片などを避ける】



近くの建物の中(できれば頑丈な建物)または地下へ

もしも、近くに建物がない場合は



物陰に身を隠す
または
地面に伏せ
頭部を守る

屋内にいる場合
【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】



窓から離れる
または窓がない部屋へ

国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守る方法や、避難施設の一覧などが確認できます。



出産・子育て応援事業を始めました！ (通称 Kギフトパッケージ)

安心して出産や子育てができる環境をつくるため、妊娠や子育て中の不安や孤立感に寄り添う「伴走型相談支援」と、育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用負担を減らすための「経済的支援」を一体的に行います。詳細は市HPをご覧ください。



市HP

伴走型相談支援

健康増進課

出産や育児などの見通しを立てたり、必要な支援につなぐサポートをします。

- 妊娠届出時の面接
- 妊娠7～8カ月ごろの出産準備アンケートと希望者への面接
- 産後の新生児訪問などでの面接
- かっ子ナビなどによる情報発信および相談支援



経済的支援

子育て支援課

Kギフト(国の出産・子育て応援給付金)を支給します。

支給額 ①Kギフト(たまご)

妊娠届出時の面接後、妊婦一人につき5万円

②Kギフト(ひよこ)

産後の新生児訪問などでの面接後、子ども一人につき5万円

申請方法 申し込みフォームまたは郵送で申請

※原則、申請書は面接時に交付します。

令和4年4月1日以降に妊娠届出または出産した人は
さかのぼって申請できます

対象者には、2月に市から案内を送付しています。対象者で案内が届いていない場合は、問い合わせてください。

なお、申請には、原則アンケートへの回答が必要です。

申請期限 令和5年3月31日(金)

